

就任に当たって

榎林 守

この度、4月1日付けの人事異動によりまして、さけます・内水面水産試験場に勤務させていただくことになりました。苗字がめずらしく、初対面の方には正しく呼ばれたことがあまりありませんが、「かしばやし」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

3月までは、道庁の財務会計事務を所管する出納局に勤務しておりました。昭和54年2月に北海道職員に採用されて以来、根室支庁会計課、出納局、東京事務所、総務部に勤務しましたが、一時期「情報公開」に係る部門などに配置されたものの、34年間のほとんどの期間を財務会計事務に従事してきました。このような経歴ですから、もちろん試験研究機関に勤務したこともありませんし、水産関係の業務に携わったこともありません。

しかし、これまでの道職員生活の中で唯一内部管理業務以外の業務に携わったことがあります。それは東京事務所で2年余りの期間でしたが、北海道の「観光と物産」の首都圏への売込み、情報発信をする業務でした。北海道の売りといえばもちろん、雄大な大自然とそこで生産される安心で安全な農林水産物です。

山手線の有楽町駅の間かいに東京交通会館という建物があり、その1階に道が設置する「北海道どさんこプラザ」という道産品を販売するアンテナショップがあります。そう広くはない面積ですが、年間8億円以上の売り上げがあります。

様々なジャンルの道産品が販売されているのですが、売上トップは残念ながら「菓子類」で全体の約30%です(平成24年度実績。以下同じ。)。やはりロイズの「ポテトチップチョコレート」や六花亭の「マルセイバターサンド」などの道産スイーツは根強い人気があります。ちなみに「白い恋人」は道内限定販売を徹底しており、フェアなどで期間限定で販売することはあっても、常時販売はしていません。

そして第2位は何と「水産加工品」で全体の約23%です。ちなみに農産物については、「畜産加工品」、「農産一次産品」、「農産加工品」、「乳製品」に区分して売上を計上しているのですが、これを合わせると約13%になります。

さて、「水産加工品」で売上トップ10は、金額では「①いか森っ子めし2P・②布目本数の子松前漬・③道東産さんま井・④黄金松前漬・⑤グルメ鮭とば・⑥一夜干し焼きいか・⑦北の味一番たこ・⑧紅太巻・⑨ネギトロ飯・⑩塩たらこ(切大)」、数量では「①道東産さんま井・②いか森っ子めし2P・③布目本数の子松前漬・④一夜干し焼きいか・⑤北の味一番たこ・⑥さんまのひつまぶし・⑦鮭とばスライス・⑧北の味一番にしん・⑨利尻とろろ昆布・⑩サーモン粕漬け」の順となっています。

東京をはじめとする首都圏、関西や九州など全国各地のデパートで開催される「北海道物産展」においても、水産加工品は中心的な販売品となっており、道産の水産加工品は全国どこでも大人気です。

このように全国各地で大人気の道産の水産物やその加工品について、試験研究機関でどのような研究が行われ、その成果がどのように活用されているかなどについては、現時点での乏しい知識では十分に分かりませんが、きっと研究職員の皆さんの長い年月にわたる地道な研究の成果が詰め込まれているのだと思います。

北海道に寄せられる食にかかわる期待の高さを感じた2年余りでしたが、北海道はその豊かな自然と環境を守り育てながら、安全で良質な食料を生産し、これを全国に提供していくことが求められているのだと思います。

この度、さけます・内水面試験場に異動になって、改めてその思いを強く持つことになり、直接にはありませんが、安全で良質な水産物生産に係る研究開発に少しでも寄与できればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(副場長 かしばやし まもる)